

## 令和元年度第3回宗像市民図書館協議会議事録

|      |                         |                                  |           |                                  |        |
|------|-------------------------|----------------------------------|-----------|----------------------------------|--------|
| 開催日時 | 令和2年2月13日(木)15:00~16:42 |                                  |           |                                  |        |
| 開催場所 | 宗像ユリックス 会議室3            |                                  |           |                                  |        |
| 出席者  | <b>【委員】</b>             |                                  |           |                                  |        |
|      | 河内祥子会長                  | <input checked="" type="radio"/> | 野本俊彦副会長   | 欠                                | 藤井準一委員 |
|      | 牟田貴美子委員                 |                                  | 高杉洋史委員    | <input checked="" type="radio"/> | 高屋和美委員 |
|      | 白根一夫委員                  |                                  | 栗山佳子委員    |                                  |        |
|      | <b>【事務局】</b>            |                                  |           |                                  |        |
|      | 図書課長織戸由美子               |                                  | 図書館係長本田博子 |                                  | 西谷尚子   |
|      | 柴田やよい                   |                                  |           |                                  |        |

### 会議資料

- 宗像市読書のまちづくり推進計画実施シート(令和元年度)資料1
- 市民意見提出手続き(パブリックコメント)の実施結果について、宗像市読書のまちづくり推進計画(案)資料2
- 図書館を使った調べる学習コンクール「全国審査」結果報告資料3
- 令和元年度 宗像市民図書館 来館者アンケート調査結果報告資料4

### 議事内容

#### 1. 開会のあいさつ

河内会長あいさつ

#### 2. 審議事項

##### (1)「宗像市読書のまちづくり推進計画」進捗状況について

事務局から資料1説明

【質疑等】 : 取組み等 番号 : 委員の発言 : 事務局からの回答

事業 1「子育て支援センターとの連携事業」

「子育て支援センターへおはなし会の情報やおすすめ本リスト等を提供」について、子育てサロンにもおすすめ本リスト等を置いて情報提供してほしい。

事業 18「学校図書館を活用した授業の充実」

「授業に役立つ資料の提供」は、令和3年度も継続されたい。学校図書館資料はこれまで読み物に偏っていた。教科の課題探求型授業で学校図書館に行かずには、パソコン教室や保護者へのヒアリング調査で済ませて授業を行っている学校がかなりある。市は調べる学習を重要視しているので、資料収集に力を入れ整備しているが、もっと充実させる必要がある。学校毎にどの分類の資料が少ないのか調査したり、資料充実のための予算の確保をお願いしたい。学校図書館整備費が地方交付税として措置されている今、整備するしかない。

学校図書館教育と情報活用教育とと一緒に考え、小学生の段階から情報を選択する力を付けていく必要がある。

市では生徒にO P A C(利用者端末)を使わせているのか。

O P A Cはないが、学校図書館システムパソコンには生徒用の画面もあり、検索もでき

る。学校図書館には、インターネット検索用パソコンを1台設置し、調べ学習にも対応できるようにしている。

#### 事業 20「小学生読書リーダー養成事業」

小学生読書リーダー養成講座受講者は、どのような読書推進活動をしたのか。

講座で学んだ内容を他の図書委員に還元して、低学年に絵本の読み聞かせをしたり、11月の読書月間で図書館クイズをしたりするなど、各学校での読書活動に活かした。また、市民図書館主催の図書館まつりでは、イベントの手伝い、図書館カウンターでの貸出・返却体験などの活動をした。

受講対象は図書委員か。

基本的には図書委員の児童が対象。

#### 事業 20「中学生読書サポーター養成事業」

中学生読書サポーター養成講座受講者は、どのような読書推進活動をしたのか。

読書週間、読書月間等に各学校で趣向を凝らし、科学遊び、おすすめ本のPOP作成・展示、ビブリオバトル等の読書推進活動を行った。

### (2)「宗像市読書のまちづくり推進計画(案)」について

#### 事務局から資料2説明

【差替え】資料2の「宗像市読書のまちづくり推進計画後期計画(案)に関する市民意見提出手続きの意見及びその回答」を別紙(当日配布)に差替え

本会で意見をいただいた後、市役所の庁議、教育委員会等で案を提示後、4月1日号の広報紙で件数、詳細はホームページで公開予定。

【質疑等】 : ページ、内容等 番号 : 委員の発言 : 事務局からの回答等

#### 宗像市読書のまちづくり推進計画後期計画(案)に関する市民意見提出手続きの意見及びその回答

##### 1項目

「なぜ策定しなければならないのか」と計画を作る必要性を聞いているが、なぜに対する回答になっていないのではないか。

今回は中間見直しで、作ったものを修正するので計画の必要性は書いていない。

##### 3項目

質問者は具体的な数値と説明がほしいと言っている。計画(案)21p「4目標指標」は報告だけなので、特に改善した点等の説明を追加してはどうか。

4項目で説明している。

##### 4項目

「図書館利用者満足度」が68%から78%増加にした原因は何か。

スタッフの対応の良さ等ではないかと思う。

【後期計画(案)に関する市民意見提出手続きの意見及びその回答については事務局案のとおり】

#### 宗像市読書のまちづくり推進計画後期計画(案)

##### 21p「4目標指標 おはなし会参加人数」

おはなし会参加人数が平成30年度に比べ令和6年度は減っているのはなぜか。

イベント回数により参加人数も変わる。幼児教育無償化で保育園に通わせる人が多くなり参加する人が減っている。

参加人数ではなく回数を目標指標にしてはどうか。

ボランティアの高齢化もあり、1日に3回実施していたおはなし会を令和2年度から2回に減らす予定なので、回数にはできない。

#### 21p 「4 目標指標 学校司書の配置率」

学校司書の配置率は平成26年度から95%のままの根拠は何か。

地島小学校以外に学校司書を配置している。今後も現状を維持することを目標にしているため95%にしている。

#### 3p 「3 具体的な取組み (1) 乳幼児期の取組み」

ボランティアの確保をして保育園にも入ってもらうようにすれば、本を読む習慣がつくのではないか。一番重要なのは乳幼児期。働く保護者が増えている現状を見据えた計画であるとよい。

実際、ボランティア人口は増えていない。一人でいくつも掛け持ちしているのが現状。私どもの役割は保護者に子どもとふれあう時間を確保することの大切さを伝えること。「ほんの少しの時間、例えば、スマートフォンの使用を5分減らせば読み聞かせができる」このことをどう伝えていくかが課題。

読み聞かせボランティア養成講座をしただけで終わっているのではないか。

養成講座の終わりにはボランティア団体と繋いでいるが、難しいところもある。

子育てサロンや学童保育所等、連携する場はある。一度、繋ないでいただければありがたい。

ボランティア養成講座を行ったが、ボランティアに繋がらない理由はなぜか。

自分の家族内で楽しみたい方やまだ学び足りないとと思っている人もいるようだ。

既存ボランティア団体は敷居が高い。練習できる場が必要ではないか。

子育てサロンには毎回10組くらいの親子が来ている。子育てサロンにも読み聞かせに行ってほしい。

司書資格を持った人員が削減される中、専門性をアピールして人材を確保するためにも職員によるおはなし会、職員コーディネートによるボランティア派遣等を行動計画に入れることを検討するとよいのではないか。

養成講座受講者がおはなし会デビューするためにも図書館司書と一緒におはなし会を計画したらよい。

人員削減で図書館司書のおはなし会がなくなったのではないかと思うが、だからこそおはなし会をする意味がある。講座終了者も最初の数回は図書館でおはなし会実習を行い、自信をつけるとよい。

0歳から3歳くらいまでの子どもは、大人が絵本を用意して環境を整えない限り子どもは絵本を手に取らない。絵本がない家庭もある。スポンサーを募るなどして、絵本が必要な人に絵本をあげるという制度等も検討してはどうか。

講座終了者が気軽にボランティア活動に参加できるような方策を後期に検討する。

【後期計画（案）については事務局案のとおり】

### 3. 報告事項

#### (1) 「第 23 回図書館を使った調べる学習コンクール」結果報告について

事務局から資料 3 説明

【質疑等】番号：委員の発言 : 事務局からの回答等

これは学校司書支援の成果か。

学校司書支援の成果である。優秀賞を受賞したのは県立宗像中学の生徒だが、市内小学校出身の生徒であり、これまでの取組みの成果と考える。

宇美町でも調べる学習コンクールを実施している。夏休みに学校司書が町立図書館で子ども達の調べ学習支援を行っている。宗像市ではどうか。

宗像市でも夏休み期間中に 1 日～2 日間学校司書が市民図書館で調べ学習支援を行っている。学校でも図書館を開放して支援しているところもある。

#### (2) 来館者アンケートについて

事務局から資料 4 説明

【訂正】 : ページ等

1p : 一番下の行「糟屋町」を「粕屋町」に訂正

2p : B-1 の 3 と円グラフの中の「須恵分館」を「須恵分館」に訂正

【質疑等】 : 目次、内容等 番号：委員の発言 : 事務局からの回答

B-4 してみたい図書館ボランティア

この中で既に活動しているものは何か。

「1 本の修理、補修」、「2 おはなし会などの読み聞かせ」、「4 ブックスタート」、「7 図書館まつりなどのイベント」を実施している。

その他のボランティアは検討するのか。

「5 高齢者への支援(本の配達など)」は後期計画で検討する予定。「6 身体障害者への援助(対面朗読・車椅子介助など)」はメイトム内に社会福祉協議会所属の団体がある。

C-2 宗像市民図書館に望むことや期待すること

この中で検討していこうと考えているものはあるか。

「閉館時間」について、委託料の関係で月に 1～2 回閉館時間を遅くするのは難しいが、夏季等に単発でできるのではないかと考えている。

「館内の BGM」について、開館当初は流れていたのではないか。

不明。BGM が好きな人も気に障る人もいるので難しい。

要望等の検討策を入れたアンケート結果を館内掲示してはどうか。

### 4. その他

図書課長より委員任期終了のお礼

### 5. 終わりのことば

河内会長あいさつ